

勢型紙」の体験学習に興味を示し、自分の作った作品をお土産に、沢山の思い出と共に帰国いたしました。

1996年(平成8年)5月1日

鳥羽市国際交流協会(旧鳥羽市国際交流推進協議会)は広報とばにてサンタバーバラに派遣する中学生の募集をいたしました。昨年は募集の時に学年を指定しなかったため1～3年が応募したため鳥羽市教育委員会と協議の結果市内の中学2年を対象に男女各2名で計4名募集しました。後の条件は例年と同じにいたしました。引率は教育委員会から市内中学校勤務の先生をお願いいたしました。

1996年(平成8年)7月1日

鳥羽市国際交流協会では、姉妹都市のサンタバーバラ姉妹都市協会の篤志家の好意により、サンタバーバラ市で英語を学びたい方1名の募集をいたしました。条件は市内に住所を有する者(もしくは家族が鳥羽在住)で学校教育法に基づく高校卒業以上で、25歳未満の英語習得に意欲があり、姉妹都市、国際交流に関心のある人ということでした。入学先はサンタバーバラ・シティ・カレッジの外国人のための英語課程を約1年間。受講に必要な経費(受講料、渡航費など)は奨学金として約5,000ドルは篤志家が負担をしてくれました。サンタバーバラ市ではホームステイをして大学に通学いたしますが、その月々の家賃、生活費、小遣いなどは個人の負担となりました。選考方法は国際交流に関することや、応募した動機などを800字程度にまとめたレポートにて審査をいたしました。

1996年(平成8年)7月22日

サンタバーバラ市の篤志家の招きで、留学生に選考された中井朋さんが、鳥羽市役所を訪れ水谷市長に出発の挨拶をしました。中井さんは8月下旬から始まる新学期に合わせて渡米し、サンタバーバラ・シティ・カレッジに1年間の予定で留学いたします。

この日はサンタバーバラ市に派遣される鳥

羽市の中学生4人(亀田陽子さん、山本晴香さん、山下慎市君、上村裕次郎君)と引率の教師の中村浩子先生も一緒に水谷市長を訪問いたしました。

1996年(平成8年)7月24日～4日

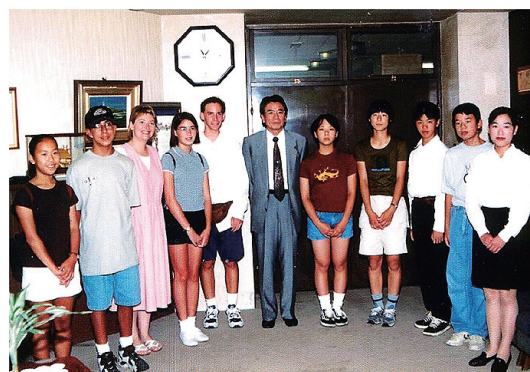
今回早い目に出発になったが、サンタバーバラ市のオールド・スパニッシュ・フェスタにあわせて出発しました。各家庭から出かけたところはそれぞれ違い、ディズニーランドやユニバーサルスタジオ、又消防署と個々に行動をしたようです。ただ市役所に市長訪問や、歓迎会、そしてフィエスタは全員参加いたしました。

1996年(平成8年)8月6日～16日

サンタバーバラ市から中学生4人(ティム・ボール君、マット・ロドリゲス君、エイプリル・バイブルさん、ケンドラ・スティッチャーさん)と昨年に続き引率のリンダ・ロブソンさんです。滞在中は市役所訪問や歓迎会、市内見学のほか、「伊勢型紙」の体験学習や岩倉町の盆祭りにも参加したり、柔道なども体験した人もあり、伝統的な文化に触れ、多くの思い出を持って帰っていきました。

1996年(平成8年)8月9日

姉妹都市の中学生8人と引率の2人が鳥羽市役所を訪問し、不在の市長に代わり対応した江崎収入役に帰国と来鳥の挨拶をいたしました。鳥羽の印象を聞かれたサンタバーバラ市の中学生は、鳥羽市は緑が多い、みんなが親切などと感想を述べていた。同日行なわれた歓迎会ではみんなと歌を歌うなど、すっかり打ち解けた様子でした。



1996年(平成8年)10月23日～29日

鳥羽市国際交流協会は、サンタバーバラ市と鳥羽市の姉妹都市提携30周年記念事業「鳥居と日本庭園」造成計画協力表明と同時に、事務局が(社)鳥羽青年会議所に移ったのを機会に、サンタバーバラ姉妹都市委員会に挨拶を兼ね、中村元同協会専務理事ら4人が訪問。

庭園の造られる場所は、海岸沿いのショアライン公園内の浜辺に降りる階段付近。

一行は市役所を訪れ、鳥羽市長からの記念品を渡し、これからの友好関係などについて懇談をした。

1996年(平成8年)11月3～4日

鳥羽サンタバーバラ姉妹都市交友会は、市民にもっと姉妹都市の事を知ってもらうため、鳥羽市民文化祭にコーナーを設け、資料やビデオなどを展示放送をいたしました。

1996年(平成8年)11月16日

サンタバーバラ通信第6回目に8月からサンタバーバラシティカレッジに留学している中井朋さんの近況報告が載りました。彼女が住んでいる所から学校までは歩いて15分のバス停まで行き、それからバスで30分ほど掛かるそうです。

それと、クラスはメキシコ人と日本人が多く、授業中みんなは手を上げて発表したり質問したりするが、日本人はしないので逆に良く当てられるそうです。文法はできるのですが会話が難しいので、一生懸命単語を並べてジェスチャーをして会話をしています。だんだん相手のいっていることがわかるようになって来ました。それと何でもトライするように頑張っていますと書かれていました。

1997年(平成9年)1月1日

広報とばのサンタバーバラ通信欄第7回目中井朋さんの近況報告が載りました。毎日バス停まで歩いている中井さんは真っ黒に日に焼けたそうです。又サンタバーバラの生活にも慣れた様子で、パーティにも参加しているそうです。又ホストファミリーは一生懸命

日本語を覚えようと毎日勉強しているそうです。又朋さんがてんぷらとすしを作ったそうで、サンタバーバラの人達は日本食が好きだそうです。又日本に興味の有る人に週に1度英語を習いながら、代わりに日本語を教えているそうです。次の通信では素敵な報告が聞けるでしょう。

1997年(平成9年)3月1日

広報とばのサンタバーバラ通信第8回目中井朋さんの近況報告は、6ヶ月が過ぎ自由にショッピングや映画にサンタバーバラ市を歩けるようになった様子が書かれていました。又鳥羽ではわからなかったことですが、クリスマスの飾りつけはすごくきれいにするけれども、1月1日はholiday(休日)だけで2日からは仕事だそうです。学校の休みは約1ヶ月あり、新しい学期が始まるそうで、友人、知人もたくさんでき、会話もできるようになり余裕を持って学校へ行っているという報告でした。

1997年(平成9年)4月～

しばらく手伝っていなかった国際交流協会の中学生派遣事業を鳥羽サンタバーバラ姉妹都市交友会が歓迎会などに関して手伝うことになり、多くの人に参加してもらうため案内状を配布し、ホテルで歓迎会を行ないました。

1997年(平成9年)6月1日

広報とばのサンタバーバラ通信第9回目は中井朋さんのサンタバーバラ滞在最後の近況報告です。彼女が渡米して約10ヶ月、もうすぐ帰国に対して、思うことが書かれていました。最初は話すことも苦労されていた英語もマスターし、周りの人達にも大切にされ、生活になじんだことが彼女を大きく成長させた様子が伺えました。又この事業は昨年3月に鳥羽を訪問されたイーライ・リー・ルーリア夫妻の厚意で行なわれた事業で、それに携わったサンタバーバラ市と鳥羽市の関係者に感謝の言葉が添えられておりました。

1997年(平成9年)6月1日

広報とばにて昨年に引き続きサンタバーバラ・シティ・カレッジの1年間の語学留学生を募集いたしました。これはサンタバーバラ姉妹都市委員会の篤志家の厚意により英語の習得に意欲があり、国際交流事業に関心のある学校教育法に基づく高校卒業以上で25歳までの住所を鳥羽に有する人を対象といたしました。そのほかの条件も昨年同様で行ないました。

1997年(平成9年)6月10日

サンタバーバラの篤志家に招かれ、サンタバーバラ・シティ・カレッジで1年間学んでいた中井朋さんが、鳥羽市役所を訪れ、井村市長と川村教育長に帰国の報告をいたしました。中井さんは昨年8月、新学期にあわせて渡米し、6月5日に学期を終えて帰国いたしました。サンタバーバラ市での生活を尋ねられた中井さんは「みんなが親切でアットホームな雰囲気の中での生活は楽しい毎日でした」と話し、井村市長からは「この体験を鳥羽市の国際交流活動にも役立ててほしい」希望されていました。



1997年(平成9年)7月28日

姉妹都市交換派遣事業でサンタバーバラ市に派遣される中学生3人と、サンタバーバラ市の篤志家の招きで語学留学をする藤原久美さんが、出発を前に鳥羽市役所を訪問し、井村市長に挨拶をしました。

特に1年間留学する藤原さんは「アメリカで英語のシャワーを浴びて、英語で自分の意見を自信を持って話せるような語学力を身に

付けてきたい。又観光施設で働いていた経験を生かし、鳥羽の魅力をしっかりアピールしていきたい」と抱負を述べ、井村市長からは「生活習慣の違う中で、しっかり勉強してきてください」と激励を受けていました。

1997年(平成9年)7月

昨年から行われていた姉妹都市語学留学生の派遣事業で、ビザが手違いで取得できないとのことで、交友会のメンバーが奔走し大阪で取得し、大学の開校式に留学生は間に会いました。

1997年(平成9年)7月30日～8月9日

姉妹都市中学生交換事業で選出された鳥羽市の中学生3人(中村優さん、川西久美子さん、政山佳代子さん)と引率の佐々木典子先生がサンタバーバラ市にホームステイ。今回は中学生は女子のみということで、ホームステイ先で料理の披露もあり、スパニッシュ・フェスタの山車に浴衣に乗って、鳥羽の代表として乗った子もありました。又中学生の人達には紹介していませんでしたが、アルファ・トレーニングセンター(障害者訓練施設)に行った中学生もあり、いろいろと考えさせられたと報告がありました。鳥羽でも見ることのできない施設なので今後彼女の一生に良い影響があると思います。

1997年(平成9年)8月18日

サンタバーバラ市と鳥羽市の交換中学生6人と引率の教師2人が鳥羽市役所を訪れ、鳥羽訪問と帰国の挨拶を鳥羽市長にしました。

出迎えた井村市長はサンタバーバラ市の皆さんに「ようこそいらっしゃいました。じっくりと鳥羽を見ていってください」と歓迎の言葉を述べ、鳥羽の印象を尋ねました。彼らは海の青、山の緑と自然が美しいと口々に答え、「食べ物はどうですか」との質問には、答志島で食べたあわびとサザエの刺身が珍しかったと応えていました。又ハヤシライス、タコボール(たこ焼き)、味噌汁が気に入った人もいたようです。